

東大野球部



メールマガジン

Vol.116

いあいらび

日中はだいぶ暖かくなってきましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

リーグ戦開幕まで残り2週間あまりとなり、東大野球部ではオープン戦や実戦練習が行われております。そこで浮き彫りとなった更なる課題を克服するべく、チーム一丸となって日々練習に励んでおります。

また、4月から東大野球部への入部を希望する合格者も数名、東大球場を訪れてくれました。どのような新入部員が入ってくるのか楽しみです。今後とも東大野球部を宜しくお願い致します！

今後の日程

〈春季オープン戦〉

3月26日 13:00～vs 東京国際大@東国大G

13:00～vs ゴールドジム@東大球場

27日 11:00～vs 東京農業大@東農大G

29日 13:00～vs 横浜国立大@横国大G
31日 13:00～vs 神奈川工科大@東大球場
4月 1日 13:00～vs 東洋大@東洋大G
3日 13:00～vs 立正大@立正大G

〈社会人対抗戦〉

4月 4日 11:00～vs JFE東日本

@明治神宮野球場

背番号特集

今回の特集は、「背番号特集」です。東大野球部では背番号は希望制で決まります。新体制となり、背番号が変更した選手も多いので、その中なぜその背番号を希望したのかを、選手5名に聞いてみました。



阿加多 優樹(新4年・副将・外野手・学芸大附)

7番は、僕が東大野球部に入部以来、成瀬さん(H25卒)と、尊敬する先輩方がつけてこられた番号です。また、兄(慶大・H25卒)が六大学でプレーしていたとき、最後につけていた背番号は7でした。7は西洋において幸運の数字とされます。ラッキーセブンというやつです。リーグ戦では背番号関係なく全ての部員がチームのために働いて勝利を掴みます。

生田 優人(新4年・外野手・仙台)

僕が14番を選んだ理由は2つあります。1つ目は谷澤コーチへの憧れです。谷澤コーチは現役時代の前半、14番で活躍されました。谷澤コーチの御指導に比べられるよう頑張ります。2つ目は去年の副将の初馬さん(H27卒)が背負っておられた番号であることです。僕は初馬さんの努力する姿勢に常に刺激を受けていました。なので自分もそれ以上に努力し、後輩に刺激を与えていくという誓いを込めて14番を選びました。



(右)阿加多外野手、(左)生田外野手



下嶋 浩平(新4年・内野手・仙台)

僕が背番号6を選んだ理由は、背番号6はプロ野球の選手でも楽天の藤田選手や元ヤクルトの宮本選手など、守備の上手い選手がつけるイメージがあったからです。そのような選手に憧れて選びました。勝つためには守備はとても重要なので、もっと上手くなれるようにがんばります！



下雅意 拓哉(新3年・捕手・甲陽学院)

僕は今年から背番号41をつけるのですが、41は高校の先輩である笠原さん(H27卒)が去年までつけていて、また谷澤コーチの現役時代の番号でもあるので、41にしました。谷澤さんは「良い」という意味をこめてこの番号をつけたらしいのですが、僕は「よい」「ドン」で開幕戦から勝利できるようにという意味を込めます。お一方の活躍に恥じないように頑張りたいと思いますので応援よろしくお願ひします！



(右)下雅意捕手、(左)宮台投手

宮台 康平(新2年・投手・湘南)

僕が背番号1を希望した理由についてですが、単純にかっこいいと思ったからです。また、僕は楽天の松井裕樹投手のファンなので、彼と同じ背番号にしたいということもあって選びました。「1」という背番号はなにかと目立つので、不甲斐ないプレーはできないと自分にプレッシャーをかけてきた番号なかもしれません。過去主力選手が着けてきた番号なので、それに見合うような選手になりたいです。

編集後記

今回の特集はいかがでしたか。選手達の背番号への熱い思いをお伝えできたなら幸いです。選手1人1人がそれぞれの思いの詰まった背番号をつけ、オープン戦、そしてリーグ戦に臨みます。是非球場に足をお運びいただき、ご声援の程よろしくお願ひ致します。

今後とも、東大野球部をよろしくお願ひ致します。

お問い合わせ先

〒113-0023

東京都文京区向ヶ丘1-5-9

一誠寮

TEL&FAX 03(3811)5000

メールアドレス office@tokyo-bbc.net

メルマガについてのご意見、配信停止のご希望等ございましたら上記連絡先までご連絡下さい。

